

中国における自動車産業の成長とエネルギー政策に関する調査研究

(報告書の概要)

中国の自動車市場は2009年に1,367万台に達し、長らく世界トップの座を維持していた米国を抜いて第1位となった。しかしながら、中国には100社以上の自動車メーカーが存在し、メーカー乱立で低効率といわれる旧来の構造的問題を抱え、中国政府は産業構造調整に着手している。また、近年、特に09年に市場が急拡大したこともあり、今後のエネルギー需給の問題も懸念され、多様な動力源の活用による政府、業界、メーカー、大学などの技術革新、制度創設の進展を模索している段階にある。

本調査では、まず中国の自動車市場がどのような成長過程を経てきたのかを総市場とメーカー／セグメント別の需給関係及び中期計画を概説した。その上で、外資と民族系メーカーの成長戦略がいかなるものか比較検討し、今後の中国の自動車産業が採りうる環境・省エネルギー分野での経営戦略を主眼に分析した。この結果、多様な動力源を推進する政府のもとで、各メーカーの開発の重点はハイブリッド車、電気自動車に集中する動きがあり、商品戦略の上では外資が付加価値の高い技術によって高価格、地場は商品のラインナップを増やして中低価格な戦略を採ってくるものと思われる。さらに、異業種からの参入によるコンピューター車輛の開発、普及にも言及し、今後の中国における環境対応戦略の動向をまとめた。

続いて自動車関連政策をまとめるが、まずは中国の自動車産業のマクロ政策が改訂時期にあるため、その大枠としての検討の進捗状況を探った。また、メーカーの競争力向上をはかる産業再編や技術政策、販売・流通政策などに係わる具体的政策の現状と、その改訂に向けた検討状況を調査した。自動車用エネルギー関連政策に着目しては、中央政府諸機関の担当する政策動向を調査した。まず、中国の総合的なエネルギー政策の動向と課題を整理し、特に中国が最も重視する省エネ化についての政策動向とその背景、考え方等を重点に分析した。続く自動車用エネルギー政策については、各種石油代替燃料の開発動向や環境対応車の技術開発と産業育成についての検討を加え、自動車用燃料が全体の各種資源のなかでどの位置にあるのか、需給の関係から体系的にまとめた。

(報告書の主要構成)

- (1) 中国自動車産業の成長と主要メーカーの環境・省エネルギー戦略
- (2) 中国自動車関連政策の最新動向
- (3) 中国自動車用エネルギー政策の動向
- (4) その他の自動車関連政策、自動車産業の概要